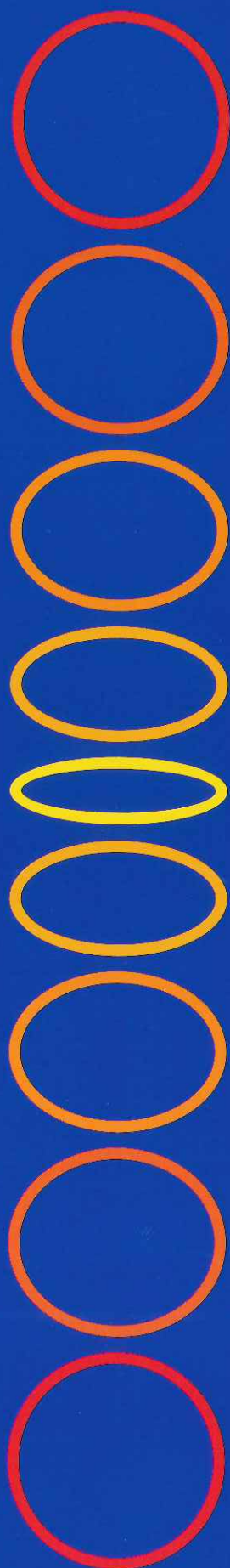


1992
長崎市都市景観賞
表彰作品集



都市景観賞
1992

1992長崎市都市景観賞

ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長
本島 等

緑の山並に取り囲まれた天然の良港を中心に
して発展した長崎は、鎖国時代にも海外へ開かれ
た我が国唯一の窓口として、輝かしい国際交流の
歴史をもち、安政の開国後は、開港3港の一つと
して栄え、居留地も作られるという、栄光に満ちた歴史
があります。反面、先の大戦では原子爆弾の惨禍
に会うという、悲惨な歴史もあわせもっています。

このような、他都市には類を見ない自然や歴史、
またそれらによって育まれた文化、市民性を含め、
長崎の持つ多様で価値のある資質を生かしなが
ら、住む人にとっても、訪れる人にとっても、個性的で
優しいまちにすることが、我々に課せられた課題だ
と考えます。

長崎市でも、「美しいふるさとづくり、楽しいふるさ
とづくり、たくましいふるさとづくり」を掲げ、まちづくりに
取り組んでおりますが、市民との関係、相互啓発
がなければ、なかなか実現するものではありません。

長崎市都市景観賞は、民間諸団体の協力によ
り、今回で4回目となり、また今年度からは、毎年定
期的に開催することとなりました。

今回も多数の方々より推薦があり、選考委員の
皆様にも、多大なご協力をいただきました。皆様方
には、厚くお礼申し上げます。

この賞が、長崎らしいまちづくりの契機となり、市
民にとっても励みとなることを願ってやみません。



長崎商工会議所会頭
松田 晴一

この度'92長崎市都市景観賞を受賞されました
関係者の皆様に衷心より、お祝い申し上げます。

戦後の経済成長の進展にともない、国内各地の
オリジナリティー溢れる都市のたたずまいが、経済
優先の名のもとに喪失し、都市の没個性化が進ん
で参りました。

長崎も都市化の波に浸食され、異国情緒を醸
し出す長崎独自の家屋や洋館群が漸次減少して
参りました。

これら経済優先を危惧し、長崎らしい街づくりを
推進しようとする景観意識の高まりと共に創設され
た本賞も回を重ねて第4回を数え、すっかり市民の
中に定着した感がございます。

今回の優れた受賞作の中には、市民有志の熱
意と地道な活動によって受賞されたものも含まれる
など、一層裾野の広がりを感じられるところでござ
います。

心の時代といわれて久しい昨今、建設省が主催
する都市景観賞「都市景観100選」部門において
長崎市らしさを彷彿とさせる都市の顔として東山手・
南山手景観形成地区が九州で初の受賞に輝く
など、当地においては、一層その機運に拍車をかけ
つつあります。

各地でその土地柄に相応しい景観整備へ回帰
していく中、本市においても景観形成地区指定の
ような地区施策や全市を対象とした本賞が有機的
にかかわり、長崎らしい都市景観整備が官民一体
となって推進されることは喜びにたえません。

今後も市民各位の一層のご支援をお願いする
と共に、本事業実施に当たり、ご尽力下さいました
関係各位、並びにご多忙の中ご協力頂きました選
考委員の皆様に対し、衷心より感謝申し上げご挨拶
いたします。

自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練された街づくりに寄与する作品に対して贈られる賞です。



選考を終えて

長崎市都市景観賞
選考委員会座長
石野 治

’92長崎市都市景観賞の受賞作品が決定され、表彰が行われることになりました。この賞は88年に都市景観建築賞として発足し、今回第4回を終了したことになります。その間、都市景観建築賞から都市景観賞への名称変更や、公共建築物の応募対象からの除外と復活等、多少の試行錯誤がありました。今回の選考に関しましても、公共と民間との受賞件数の比率の問題等、なお今後の検討課題として残された部分もあります。私は第1回の都市景観建築賞の選考を終えた感想として、作品集のなかで次の様に述べています。「選考委員会の委員は各界、各分野にわたっていて、まさに市民の代表で構成された委員会といえます。これは他都市での数ある景観賞のなかでも特筆すべきことです。つまり本市の都市景観建築賞は、市民の目で見、市民の頭で判断し選考されたもので、深い専門的視点よりも、より広い市民レベルでの評価を重視したものです。」ここで述べられている本景観賞の特質は、第1回より今回に至るまで変わることなく受け継がれ、むしろ一層純化された様にも考えられます。しかしこの事は、或いは建築家等の専門的評価とは異なった選考結果を生んでいるのではとの懸念もありません。今回の応募作品の中にもその意味で大変惜しい作品が幾つかあったことをこの場を借りて記しておきたいと思います。

今後長崎市都市景観賞が、広範な市民の御理解と御協力によって、質的にもますます向上発展いたしますことを心から祈念いたします。

選考委員会

座長
石野 治
長崎県建築士会会長
長崎総合科学大学教授(建築)
委員
井川 惺亮
長崎大学教育学部教授(美術：洋画)

岡林隆敏
長崎大学工学部助教授(土木工学)

片寄俊秀
長崎総合科学大学教授(建築家、技術士)

川村清一
長崎青年会議所直前理事長(経済界)

鈴木一郎
長崎商工会議所常議員(主催者)

津田桂子
わらべ文庫主催者(文学)

鳥居丈平
長崎商工会議所青年部(主催者)

中村照美
中村照美法律事務所(弁護士)

橋本敏春
長崎市助役(主催者)

林田米松
長崎県グリーン事業協同組合理事長
(造園)

福丸秀一郎
商業デザイナー(美術：デザイン)

ブライアン・バークガフニ
長崎市文化国際課嘱託

松岡政春
写真家(美術：写真)

宮川密義
長崎新聞社論説委員(マスコミ)



海星修道院・海星学園図書館

〔選定理由〕

海星修道院は、斜面都市長崎の景観の中で、最も印象的な建物として親しまれてきた。学園創立100周年を記念して、老朽化した建物の建て替えに際し、在来建物に近い外観の再現が図られ、併せて隣接して建築された図書館とともに、東山手に新しい長崎の代表的な景観としてその姿を見せることになった。

海星修道院

所在地：長崎市東山手町1番2号
 用途／寄宿舎(修道院)
 階数／地上5階地下1階
 構造／鉄筋コンクリート造
 延面積／2,668.38㎡ 高さ／21.55m
 ■建築主
 宗教法人カトリックマリア会
 代表役員 吉村新一郎
 東京都千代田区富士見1丁目2番43号
 ■設計者
 株式会社溝上建築設計事務所
 代表取締役 溝上 聡
 長崎市大橋町25番6号ラッキービル
 ■施工者
 九州建設・東栄建設共同企業体
 九州建設株式会社 取締役社長 辻 長英
 福岡市博多区博多駅南1丁目8番31号
 東栄建設株式会社
 代表取締役社長 柴田一彦
 長崎市栄町4番17号

海星学園図書館

所在地：長崎市東山手町1番1号
 用途／図書館
 階数／地上4階
 構造／鉄筋コンクリート造
 延面積／1,640.29㎡ 高さ／16.35m
 ■建築主
 学校法人海星学園 理事長 田上保幸
 長崎市東山手町5番3号
 ■設計者
 株式会社溝上建築設計事務所
 代表取締役 溝上 聡
 長崎市大橋町25番6号ラッキービル
 ■施工者
 大進建設株式会社 代表取締役 中村 諭
 長崎市樺島町1番16号



小ヶ倉水園

〔選定理由〕

水と緑の豊かな自然美と、先人が残した第二の自然ともいべき雄大なダム的人工美の織りなす空間は、戦前より子供達や地域の人々の遊びや憩いの場として親しまれてきた。この水をテーマとし、ヒューマンスケールで整備された水園が契機となり、雄大な自然景観への市民の関心が高まることを期待する。

所在地：長崎市上戸町343番地
 (小ヶ倉浄水場内)

用途／公園(水園)
 面積／庭園部 約3,000㎡ 河川部 約2,200㎡
 ■建造主
 長崎市長 本島 等 長崎市桜町2番22号
 ■設計者
 扇精光株式会社 代表取締役 扇 道徳
 長崎市出来大工町36番地
 ■施工者
 株式会社富永工務店 代表取締役社長 富永政巳
 大村市福重町92番地2
 丸田開発株式会社 代表取締役社長 埴生雅子
 長崎市界町63番地
 大進建設株式会社 代表取締役 中村 諭
 長崎市樺島町1番16号
 株式会社西海興業 代表取締役 西山作郎
 長崎市平和町5番19号



矢上小学校現川分校

〔選定理由〕

こんもりとした山の緑を背景にしたこの分校校舎は、鉄筋コンクリート造ながら、丸太をあしらったログハウス風にデザインされていて、周辺の景観に違和感なく溶け込み、訪れる人をほっとさせる。校舎の内部空間も素晴らしく、分校で学ぶ子供たちの心に忘れられない記憶として残るであろう。

所在地：長崎市現川町1912番地
用途／小学校 階数／地上1階
構造／鉄筋コンクリート造
延面積／372.30㎡ 高さ／7.150m

■建築主
長崎市長 本島 等
長崎市桜町2番22号
■設計者
小島建築設計事務所 代表者 小島春夫
長崎市岩川町18番1号カーサー岩川

■施工者

大林建設株式会社
代表取締役 大林成人
長崎市宿町33番地3
松浦工業株式会社
代表取締役 吉田正也
長崎市長門町281番地7
今里電気商会 今里克巳
長崎市出雲2丁目161番地
有限会社瑠璃庵 代表取締役 竹田克人
長崎市大浦町9番31号



坂本龍馬之像(銅像)

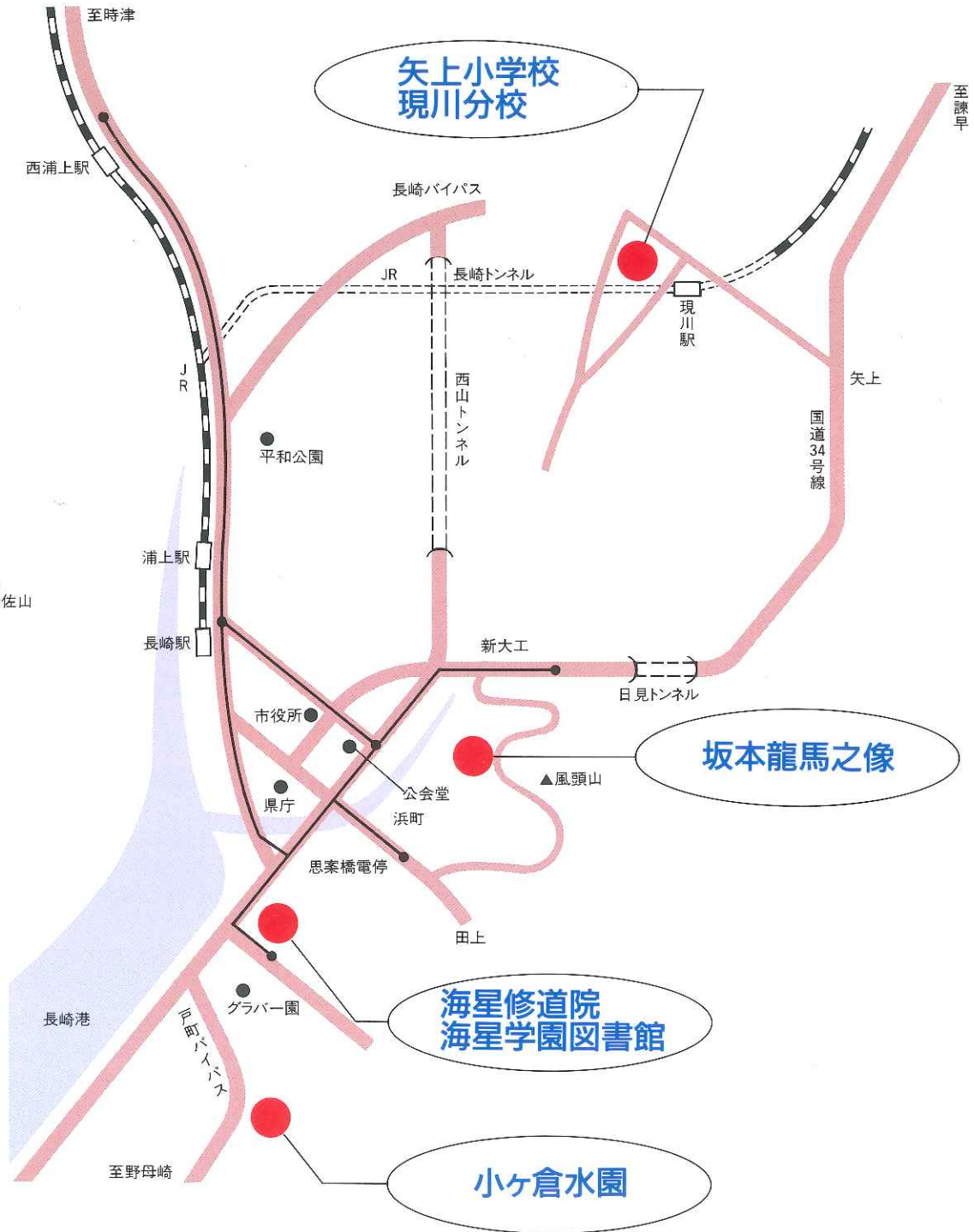
〔選定理由〕

幕末に活躍した坂本龍馬の銅像をぜひ長崎にという市民有志の熱意と地道な努力により建立された「坂本龍馬之像」は、長崎の港を眼下にしなが、世界の海への龍馬の遠大な志をわれわれに感じさせてくれる。風頭公園の一段小高い丘の上に建つ像は、長崎市内屈指の景観を誇る公園の画龍点睛的な存在として広く市民や観光客の心に訴え続けるであろう。

所在地：伊良林3丁目(風頭公園内)

■築造主
長崎龍馬会(旧龍馬の銅像ば建つうで会)
会長 柴崎賀広
長崎市銅座町2番21号
■製作者
彫刻家 山崎 和國
長崎市本河内町1430番地5

表彰作品
位置図



実行委員会

委員長

本島 等

(長崎市長)

委員

松田 崎一

(長崎商工会議所会頭)

高比良 昇

(長崎商工会議所専務理事)

林田 武

(長崎商工会議所建設部会長)

江村 大洋

(長崎商工会議所青年部会長)

藤田 憲

(長崎市都市計画部長)

相良 信義

(長崎市都市開発部長)

有馬 利善

(長崎県建築士事務所協会长崎支部支部長)

江部 努

(日本電信電話株式会社長崎支店支店長)

大石 成一

(九州電力株式会社長崎支店支店長)

扇 道德

(社団法人長崎県測量設計業協会会長)

平三 樹男

(長崎市管工業共同組合理事長)

徳住 一郎

(長崎県電気工事業工業組合長崎支部支部長)

永田 朝治

(社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長)

中村 諭

(社団法人長崎県建設業協会长崎支部支部長)

野村 和夫

(長崎市造園建設業協会の会長)

原田 尚

(社団法人長崎県建設業協会长崎中央支部支部長)

山崎 修司

(西部瓦斯株式会社長崎支店支店長)

山田 荒喜

(長崎県土地開発設計協会会長)

監事

佐々木 泰昭

(長崎商工会議所企画調査部長)

蔵治 義和

(長崎市都市計画部都市計画課長)

(50音順)

主催

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

協賛

九州電力株式会社長崎支店

長崎県測量設計業協会

日本電信電話株式会社長崎支店

長崎市管工業協同組合

長崎県電気工事業工業組合長崎支部

長崎県建築士会長崎支部

長崎県建設業協会长崎支部

長崎市造園建設業協力会

長崎県建設業協会长崎中央支部

西部瓦斯株式会社長崎支店

長崎県土地開発設計協会

長崎県建築士事務所協会长崎支部

後援

NHK長崎放送局

株式会社エフエム長崎

株式会社テレビ長崎

株式会社長崎国際テレビ

株式会社長崎新聞社

長崎文化放送株式会社

長崎放送株式会社

長崎市都市景観賞表彰実行委員会